

# 履修要項

## 1. 成績評価

(1) 成績評価は科目概要にある授業科目毎の成績評価方法により評価を行っています。授業科目毎に成績評価方法が異なりますので、科目概要で確認してください。

(2) 成績評価は下記の通り行っています。

評点	100～80点	79～70点	69～60点	59点以下
評価	優	良	可	不可
判定	合格			不合格

(3) 各学年の前期・後期の成績は、日時を定め発表するとともに保護者に郵送します。

## 2. 単位認定及び認定基準

### (1) 単位認定

全授業科目において、下記の基準により単位認定を行っています。

### (2) 単位認定基準

単位認定のためには、次の①と②の基準を共に満たさなければいけません。

① 成績評価が「可」以上

② 出席率が75%以上

### (3) 遅刻・早退の取り扱い

① 遅刻・早退については、3回で欠席1回とみなします。

② 授業開始後又は終了前の20分未満を受けていない者は遅刻又は早退とします。

③ 上記該当しないものに関しては、原則70%以上受けなければ欠課とします。

※遅刻した際の教室への入室には、「入室許可証」が必要です。

授業時間	遅刻	早退	欠課
90分	開始後 20分未満	終了前 20分未満	受講時間 70分未満

④ 下記(1)(2)(3)の場合は、成績評価規程により配慮します。

(1) 疾病で欠席する場合 ⇒ 欠席届に医師による診断書の添付が必要になります。

(2) 忌引・慶事により欠席する場合 ⇒ 指定した書類の提出が必要になります。

(3) 公欠により欠席する場合 ⇒ 指定した書類の提出が必要になります。

(4) 学外授業、総合臨床実習(インターンシップ)、その他研修は、別途定める基準により成績評価を行います。

#### (4) 追試験・再試験制度

追・再試験当日に欠席した場合、試験日の振替はありません。

##### ① 追試験

学校が定める疾病、事故、弔事、公欠など正当な理由で定期試験を欠席した場合、下記の書類を申請期間内に提出し追試験を受験することができます。受験は無料で追試験科目数に上限はありません。但し、科目によっては受験を認めない場合もあります。

- ・疾病の場合 ⇒ 診断書
- ・事故の場合 ⇒ 保証人等の理由書
- ・弔事の場合 ⇒ 忌引き届
- ・公欠の場合 ⇒ 公欠届
- ・その他、学校長が認めた場合 ⇒ 公欠許可願

##### ② 再試験

不合格または特別な理由がなく①に該当しない場合、再試験を受験することができます。再試験を受験することができる科目数は、出席率 75% を越える科目が対象となり、該当学期に開講している科目の 50% までを原則として受験できます。受験は全て 1 科目につき 1,000 円が必要です。但し、科目によっては受験を認めないこともあります。

また、卒業・進級の再認定に伴う特別課題などにかかる審査が発生した場合は全て有料とします。

### 3. 単位認定に必要な出席回数

単位認定を受けるためには各授業の授業コマ数に対して、75% 以上の出席が必要です。

下記の出席回数を満たせない場合は、その科目の評価を受けることができませんので注意して下さい。

授業のコマ数	単位認定に必要な出席回数
15 回	12 回以上
8 回	6 回以上
7 回	6 回以上
4 回	3 回以上
3 回	3 回以上
その他回数	授業回数 × 0.75 小数点以下切上げ

### 4. 進級・卒業規判定

#### 動物看護学科

##### (1) 1 年次進級判定 (1 年 → 2 年)

進級は後期追・再試験終了後の単位取得状況が、下記の要件を満たす必要があります。

- ① 取得単位数が所定の単位数の 80% 以上に達していること。
- ② 飼育実習、総合演習の単位を取得していること。
- ③ 原則として所定の学費を完納していること。

##### (2) 卒業判定

卒業は後期定期試験終了後の単位取得状況が、下記の要件を満たす必要があります。

原則として卒業判定後の追・再試験は実施しません。

- ① 取得単位数が所定の単位数の 80% 以上に達していること。
- ② 飼育実習、総合演習の単位を取得していること。
- ③ 総合臨床実習(動物看護総合実習)の単位を取得していること。
- ④ 所定の学費を完納していること。

##### (3) 進級・卒業の認定を受けられなかった場合

留年もしくは自主退学とします。

## 動物看護福祉学科

### (1) 1年次進級判定(1年→2年)

進級は後期追・再試験終了後の単位取得状況が、下記の要件を満たす必要があります。

- ①取得単位数が所定の単位数の80%以上に達していること。
- ②飼育実習、総合演習の単位を取得していること。
- ③原則として所定の学費を完納していること。

### (2) 2年次進級判定(2年→3年)

進級は後期追・再試験終了後の単位取得状況が、下記の要件を満たす必要があります。

- ①取得単位数が所定の単位数の80%以上に達していること。
- ②飼育実習、総合演習の単位を取得していること。
- ③集中授業の単位を取得していること。
- ④原則として所定の学費を完納していること。

### (3) 卒業判定

卒業には後期定期試験終了後の単位取得状況が、下記の要件を満たす必要があります。  
原則として卒業判定後の追・再試験は実施しません。

- ①取得単位数が所定の単位数の80%以上に達していること。
- ②飼育実習、総合演習の単位を取得していること。
- ③総合臨床実習(インターンシップ)の単位を取得していること。
- ④卒業制作の単位を取得していること。
- ⑤所定の学費を完納していること。

### (4) 進級・卒業の認定を受けられなかった場合

留年もしくは自主退学とします。

## 動物看護総合学科

### (1) 1年次進級判定(1年→2年)

進級は後期追・再試験終了後の単位取得状況が、下記の要件を満たす必要があります。

- ①取得単位数が所定の単位数の80%以上に達していること。
- ②飼育実習、総合演習の単位を取得していること。
- ③原則として所定の学費を完納していること。

### (2) 2年次進級判定(2年→3年)

進級は後期追・再試験終了後の単位取得状況が、下記の要件を満たす必要があります。

- ①取得単位数が所定の単位数の80%以上に達していること。
- ②飼育実習、総合演習の単位を取得していること。
- ③集中授業の単位を取得していること。
- ④原則として所定の学費を完納していること。

### (3) 卒業判定

卒業には後期定期試験終了後の単位取得状況が、下記の要件を満たす必要があります。  
原則として卒業判定後の追・再試験は実施しません。

- ①取得単位数が所定の単位数の80%以上に達していること。
- ②飼育実習、総合演習の単位を取得していること。
- ③動物看護総合実習(インターンシップ)の単位を取得していること。
- ④各コースの指定する科目単位を取得していること。
- ⑤所定の学費を完納していること。

### (4) 進級・卒業の認定を受けられなかった場合

留年もしくは自主退学とします。

## 5. 取得可能単位数

### 動物看護学科

1年前期	25 単位
1年後期	23 単位
1年合計	48 単位
2年前期	26 単位
2年後期	27 単位
2年合計	53 単位
総合計	101 単位

※年度により変更する場合があります

### 動物看護福祉学科

1年前期	28 単位
1年後期	28 単位
1年合計	56 単位
2年前期	26 単位
2年後期	27 単位
2年合計	53 単位
3年前期	25 単位
3年後期	30 単位
3年合計	55 単位
総合計	164 単位

※年度により変更する場合があります

### 動物看護総合学科

1年前期	25 単位
1年後期	23 単位
1年合計	48 単位
2年前期	26 単位
2年後期	27 単位
2年合計	53 単位
3年前期	25 単位
3年後期	30 単位
3年合計	55 単位
総合計	約 156 単位

※現在、2年次・3年次の取得可能単位数については調整中です

## 6. 授業時間

1 時間目	9:30~11:00
2 時間目	11:10~12:40
3 時間目	13:30~15:00
4 時間目	15:10~16:40